

18 多可町有機農業推進協議会（兵庫県多可郡）

協議会の構成員

会長	藤本勝巳
副会長	吉田継夫
副会長	中尾和義（会計／事務局長）
学識識経験者	笹倉 剛 神戸親和女子大学教授
実需者	藤井英延 株式会社まちの駅たか施設長
実需者	岡崎智康 Chat t a n a の森代表

生産概要（2019年8月）

- 取組面積
有機農業取組面積：3.3ha
うち有機JAS取得面積：0.4ha
- 有機農業者数：28名
- 栽培品目：山田錦、ニンニク
- 有機農産物の生産量：山田錦12000kg
- 構成員の主な取引先：3箇所
（JAみのり、地元近隣酒蔵など）

成果（2019年→2020年）

- ・ 有機農業者数の増加：25名（2019年）→28名（2020年）
- ・ 有機農業面積の拡大：2.9ha（2019年）→3.5ha（2020年）
- ・ 有機農産物の販売額：670万円（2019年）→700万円（2020年）



取組のポイント（取組期間：2019年～）

■ 2019年の取り組み

- ・ 「有機農産物安定供給体制構築事業」に初めて申込んだ。他の組織との連携も出来るようになり、今まで知りえなかった情報も入手ができて刺激的であった。
- それらの情報を会員に伝達することで全体的な生産意欲が向上した。
- ・ 若者の新規加入者が3名増えた。

■ 今後の取り組み

- ・ 学校給食への有機野菜の提供ができる組織作り
- ・ 山田錦発祥の町多可町の山田錦を有機で作る取り組みの拡大
- ・ 組織の若返りを図ること、若者の集いを増やすこと。



まだまだ小さい組織です。この町で出来た有機野菜を学校給食として届けたい。そんな町づくりをしたいという思いで始めた組織です。頑張っています。

問い合わせ先
多可町有機農業推進協議会協議会
事務局 080-2506-0905 中尾

近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

19 笠形地域づくり協議会（兵庫県神崎郡市川町）

協議会の構成員

市川町上牛尾地区の有機農家さんと地元の方々

生産概要（2020年3月）

- 取組面積
有機農業取組面積：9.34ha
- 栽培品目：白菜、大根 ネギ、トウモロコシ等
- 有機農産物の生産量：1トン
- 有機農業者数：6名
- 構成員の主な取引先：2箇所
（旬彩蔵、スーパー）

成果（2018年→2019年）

- ・有機農業者数の増加：4名（2018年）→6名（2019年）
- ・有機農業面積の拡大：8.54ha（2018年）→9.34ha（2019年）

取組のポイント（取組期間：2019年～）

■栽培技術力・経営力向上のための取組

- ・新規参入者のための圃場勉強会を年に5回実施することで、栽培技術力向上を図った。

■安定供給体制構築のための取組

- ・協議会が栽培する野菜をもとに、値頃感を追求した「売れる製品」の開発を目指し、笠形しょうがジンジャエールの試作を行った。2020年度に製品化を行う予定。

一言アピール！

安心安全にこだわってつくった美味しい野菜
たちは、ヤマダストアで販売しております。
ぜひご賞味ください！

問い合わせ先
笠形地域づくり協議会

0790-27-9292

近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722



20 那賀地方有機農業推進協議会（和歌山県紀の川市・岩出市）

協議会の構成員

（株）ビオランド紀ノ川、農業生産法人バイオ・ランド、紀州やさい、紀州農レンジャー、紀の川市環境保全型農業グループ、和歌山有機認証協議会、和歌山県有機農業生産者懇話会、紀ノ川農業協同組合、紀の里農業協同組合、紀の川市、岩出市、和歌山県那賀振興局農業水産振興課

生産概要（2020年3月）

■取組面積

有機農業取組面積：18.8ha
うち有機JAS取得面積：15.59ha

■有機農業者数：32名

■栽培品目：タマネギ、水稻、キウイ等

■有機農産物の生産量：555トン

■構成員の主な取引先：10箇所

成果（2015年→2019年）

- ・有機農業実践者の増加：
26名（2015年）→32名（2019年）
- ・有機農業面積の拡大：
13ha（2015年）→18.8ha（2019年）
- ・有機農産物（JAS）の生産量：
265t（2015年）→511t（2019年）

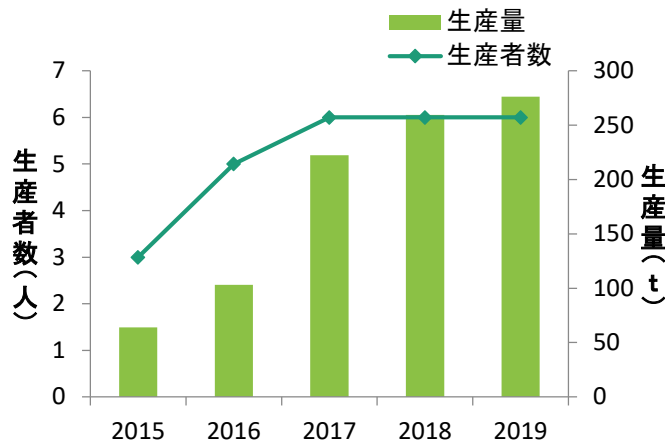


図 タマネギ〔有機JAS〕生産の推移

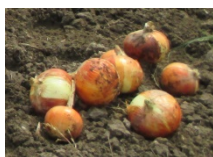
取組のポイント（取組期間：2019年～）

■有機農業への参入者の増加に向けた取組

- ・新規参入者への技術習得として、ブロッコリーの栽培研修会を年に9回実施したところ、延べ6名の参加があり、新規参入者だけでなく、従来からの有機農業実践者の意欲の向上につなげることができた。
- ・有機農業への新規参入間口を広げるため、農業者に加え福祉事業関係者を招き農福連携の取組についての研修会を開催したところ、新たな取り組みへのきっかけを提供することができた。

■流通・販売の拡大に向けた取組

- ・実需者のニーズを把握するため、東京都内において、2月に意向調査を実施し、和歌山の有機農産物を首都圏へ売り込む方法についての意見交換を行うことができた。



一言アピール！

農業を通じてみんなを元気に、環境と人に優しい農業に取り組んでいます。この機会にぜひ一度手に取ってみて下さい！

問い合わせ先
那賀地方有機農業推進協議会
0736-61-0025（県那賀振興局・直通）

近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

21 小松島市生物多様性農業推進協議会（徳島県小松島市）

協議会の構成員

生産者、実需者、徳島県、小松島市ほか

生産概要（2019年度）

■取組面積

有機農業取組面積：39.30ha

うち有機JAS取得面積：0.96ha

■有機農業者数：36名

■栽培品目：水稻、タケノコ等

■構成員の主な取引先：生協、スーパー、
産直市等

成果（2019年度）

○新規参入農家の育成支援を実施

- ・有機栽培技術講習会を実施（4回）
- ・日本有機農業普及協会
栄養価コンテストに出品（7検体）



↑栄養価コンテストに出
品を行った農産物

↓講習会の様子



取組のポイント（取組期間：2016年～）

- 有機農業への参入者の増加に向けた取組
 - ・とくしま有機農業サポートセンターと共同した、新規参入者向けの相談窓口を新農業人フェアにて実施。
- 技術の確立・習得に向けた取組
 - ・BLOF理論（生態系調和型農業理論）の講習会を実施し、生産者の技術向上及び取組面積の増加につなげることができた。
- 消費者の理解増進に向けた取組
 - ・オーガニックエコフェスタにおいて、技術者間交流と消費者へのPR活動を実施。

→栽培技術講習会の様子



←オーガニックエコフェスタの様子

一言アピール！

本協議会では、生物多様性の視点を生産環境に取り入れる農業を志向しています。

問い合わせ先
小松島市生物多様性農業推進協議会
0885-34-9292

中国四国農政局生産技術環境課
086-224-4511



22 高知オーガニック（高知県高知市、本山町ほか）

協議会の構成員

NPO法人高知県有機農業研究会、株式会社土佐山田ショッピングセンター、株式会社四国シジシー、末広ショッピングセンター、NPO法人オーガニックスタイルこうち、高知かねた青果、株式会社山下農園、りぐるVege、や農園、キセツノオヤサイ葉屋、四万十オーガニック、ケンタロウファーム、素農人ほか

生産概要（2020年3月）

- 取組面積
有機農業取組面積：13.9ha
うち有機JAS取得面積：1.3ha
- 有機農業者数：12名
- 栽培品目：ショウガ、トマト、ニンジン、水稻等
- 有機農産物の生産量：140.4トン
- 構成員の主な取引先：スーパー、産直市場、飲食店

成果（2018年→2019年）

- ・有機農業者数の増加：7名（2018年）→12名（2019年）
- ・有機農業面積の拡大：7.9ha（2018年）→13.9ha（2019年）
- ・有機農産物の販売額：3,250万円（2018年）→3,790万円（2019年）

取組のポイント（取組期間：2019年～）

■栽培技術力・経営力向上に向けた取組

- ・新規参入者向けの研修ほ場を1箇所設置するとともに、3箇所（稲作・野菜）の実習ほ場を活用した栽培技術の講習会を4回、栽培技術・経営力の向上や有機JAS認証制度の理解増進に資する研修会を8回、ほ場の土づくりのための技術実証を1回開催した。これにより新たに有機農業者（構成員）が5名増加した。

■流通・販売の拡大に向けた取組

- ・実需者と生産者の意見交換会を6回、栽培品目等の調整を行うための会議を4回開催するとともに、県内スーパーにおいて実需者等の意向把握・需要量の調査を行った。これにより令和2年5月、スーパー（15店舗）で“高知オーガニック”専用の販売コーナーが新たに設置された。
- ・11月の「わっしょいマルシェ」と1月の「高知オーガニックフェスタ」に出展を行い、「高知オーガニック」の取組を広く消費者等にPRすることができた。



わっしょいマルシェ



一言アピール！

高知オーガニックです。私たちの作った“自然の味”をぜひご賞味ください！

問い合わせ先
高知オーガニック
090-4977-1228

中国四国農政局生産部生産技術環境課
086-224-4511

23 南島原市有機農業推進協議会（長崎県南島原市）

協議会の構成員

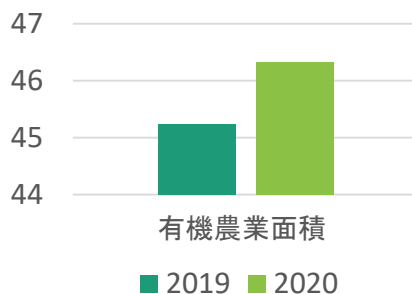
（農）ながさき南部生産組合、長崎有機農業研究会、（農）供給センター長崎
生活協同組合ララコープ、長崎県島原振興局農林水産部、南島原市農林課

生産概要（2020年4月）

- 取組面積
有機農業取組面積：46.32ha
うち有機JAS取得面積：12.17ha
- 栽培品目：ばれいしょ、たまねぎ等
- 有機農産物の生産量：1008トン
- 有機農業者数：57名
- 構成員の主な取引先：生協、宅配サービス

成果（2019年→2020年）

- ・有機農業面積の拡大： 45.24ha（2019年）
→ 46.32ha（2020年）
- ・有機農産物の販売額： 21,434万円（2019年）
→ 23,675万円（2020年）



取組のポイント（取組期間：2019年～）

■栽培技術・経営力向上等に向けた取組

- ・有機農業総合研修大会を実施し、有機農業の土づくりに関しての講習会を行った。
また、新規就農者や消費者へ周知にも参加を呼びかけ、有機農業への理解促進を図った。
- ・実証ほの実施により、玉葱の分球についての調査を行った。

■安定供給体制構築のための取組

- ・有機農業先進地へ視察及び情報交換を行った。
- ・セミナーや有機JAS認証取得に向けての講習会に参加し
有機面積拡大のための取組に努めた



一言アピール！

南島原の肥沃な大地で育てられた有機野菜を
ぜひ一度ご賞味ください！

問い合わせ先
南島原市有機農業推進協議会
0957-73-6661

九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6272

24 くまもと有機農業推進協議会（熊本県）

協議会の構成員

熊本県有機農業研究会 人吉市有機農業推進協議会
宇城有機農業プロデュース 山都町有機農業協議会「Organic山都」部会
百草園 人吉市 宇城市 山都町 熊本県 JA熊本中央会

生産概要（2019年4月）

- 取組面積
有機農業取組面積： 51.6ha
うち有機JAS取得面積： 35.7ha
- 栽培品目： トマト、しょうが等
- 構成員の主な取引先：
農協 生協 年間契約 消費者等
- 有機農業者数： 30名

成果（2018年 → 2019年）

- ・有機農業の新規参入者の増加： **1名（2019年）**
- ・有機農業面積の拡大： 48.65ha（2018年） → **51.60ha（2019年）**

取組のポイント（取組期間：2016年～）

■有機農業への参入者の増加に向けた取組

- ・科学的な根拠に基づいた土づくり技術・栽培技術、高品質高栄養価・多収穫栽培の実際を学ぶ**農業技術セミナーの開催**により、新たに有機農業を目指す農業者への意識啓発を図った。



■流通・販売の拡大に向けた取組

- ・有機農業に取り組む新規就農者の販路拡大に向け、県内の実需者とのマッチングを目的としたNewファーマーズオーガニックマルシェを開催した。



一言アピール！

日本で最も有機農業者の多い山都町も加入した当協議会では、活動もより一層充実してきました！

問い合わせ先：

くまもと有機農業推進協議会
事務局（熊本有機農業研究会 内）

096-223-6771

（九州農政局生産部生産技術環境課）
096-300-6272



25 宮崎県有機農業連絡協議会（宮崎県）

協議会の構成員

- ・ 有限会社松井農園
- ・ 小浦製茶
- ・ 株式会社かぐらの里
- ・ 宮崎県経済農業協同組合連合会
- ・ 綾町
- ・ 高鍋町
- ・ 木城町
- ・ 宮崎県

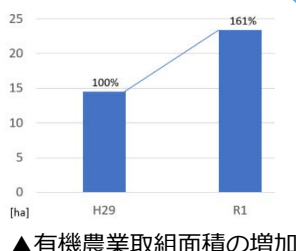
生産概要（2020年3月）

- 有機農業者数：32名（3団体）
- 栽培品目：野菜、茶、ゆず、とうがらし 等
- 取組面積 27.3 ha
- 有機農業取組面積：23.4 ha
- うち有機JAS取得面積：14.5 ha



成果（2017年→2019年）

- ・ 有機農業取組面積の拡大：
14.5 ha（H29）⇒ 23.4 ha（R1）
- ・ 県内全域を対象とした研修会の開催：
3回
- ・ 優良事例を基にした有機農業技術
事例集の作成



一言アピール！

県内の有機農業者のネットワークの拡大や有機農業技術の普及・推進を、会員一丸となり進めていきます。

取組のポイント（取組期間：2018年～）

- 有機農業者間のネットワークの強化
 - ・ 県内の有機農業者を対象に、意見交換会や、品目ごとの技術研修会を開催。
 - ・ 農業者間の情報交換の場を創出。
- 有機農業技術の実証・調査
 - ・ 会員のほ場を用いて、有機農業技術の実証や調査を行い、技術等の効果を確認。
 - ・ 有機農業技術の評価や検証に寄与。
- 優良事例の横展開
 - ・ 会員の有機農業者の栽培について調査を行い有機農業技術事例集として取りまとめ。
 - ・ 科学的根拠に基づく、有機農業技術の普及に寄与。



▲品目別研修会の様子



▲実証ほ場での現地検討



▲作成した事例集



問い合わせ先
宮崎県有機農業連絡協議会事務局
0985-26-7126

九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6272

26 かごしま有機農業推進協議会（鹿児島県鹿児島市・姶良市・南さつま市）

協議会の構成員

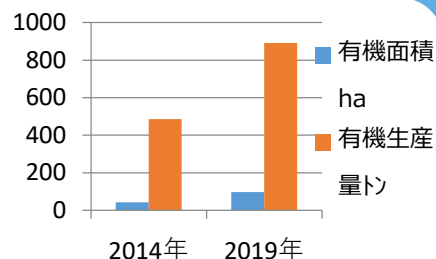
鹿児島市、姶良市、南さつま市、NPO法人鹿児島県有機農業協会、生活協同組合コープかごしま、(株)エム・オー・エー商事九州販売、(有)かごしま有機生産組合、あいら有機部会

生産概要（2020年3月）

- 取組面積
有機農業取組面積：97ha
うち有機JAS取得面積：95ha
- 栽培品目：水稻、玉ねぎ、人参 等
- 有機農産物の生産量：892トン
- 構成員の主な取引先：260箇所
(生協、スーパー、小売店 等)
- 有機農業者数：104名（当初48名）

成果（2014年→2019年）

- ・有機農業の新規参入者の増加：11名（2019年）
- ・有機農業面積の拡大：43ha（2014年）→97ha（2019年）
- ・有機農産物の生産量：485トン（2014年）→892トン（2019年）
- ・有機農産物の取引先：152箇所（2014年）→260箇所（2019年）



取組のポイント（取組期間：2014年～）

■栽培技術・経営力向上等に向けた取組

- ・研修圃場を3圃場設置し、技術講習会の開催、コスト削減・改善取組として土壌分析を実施、及び「有機農業フォーラム」を2回開催し、新規参入者だけでなく、従来からの有機農業実践者の生産性・経営力の向上につなげた。

■安定供給体制構築のための取組

- ・栽培品目・生産量の調整のために5ヶ所にて意見交換会開催、また、実需者のニーズを把握のため東京・大阪・千葉の3ヶ所にて実施、推進協議会活動パンフレットを作製し有機農産物の販売に結びつけた。



一言アピール！

日々圃場での研修を行ないみな様に安心な有機野菜のお届けを心掛けています。

問い合わせ先：

かごしま有機農業推進協議会

事務局 099-282-6867

九州農政局生産部生産技術環境課

096-300-6272

